

大阪・関西万博「とくしま活性化・魅力創出」方針（案）



1. 大阪・関西万博が目指すもの

【テーマ】いのち輝く未来社会のデザイン

【コンセプト】未来社会の実験場

- ・ 持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献
- ・ 日本の国家戦略Society 5.0の実現



2. 徳島県が参画する意義

本県が関西広域連合の一員として誘致を実現させた「万博」を千載一遇のチャンスと捉え、先駆的な「未来技術」や魅力ある「食・文化」を発信し、新たな「人の流れ」を創出するとともに、次代を担う「子どもたち」が万博を通じ、未来社会の「夢や希望」を実感することで、ポストコロナ時代における本県の社会経済発展を実現

3. コンセプト

万博は「ゲートウェイ」、徳島「まるごとパビリオン」

～ 県民が参画し、県民が創る万博 ～

4. 取組方針

（１）持続可能な社会づくりで世界をリード

- ・ G20消費者政策国際会合で評価された「消費者行政・消費者教育」をはじめ、本県の「SDGs」の先進的な取組みの一層の深化と普及を推進
- ・ 究極のクリーンエネルギー「水素」や「自然エネルギー」の利用拡大により、「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けた取組みを加速

（２）未来技術のショーケースを世界に展開

- ・ Beyond 5Gを担う「次世代“光”」、8Kを活用した「遠隔医療」など、最先端技術による近未来の姿を提示
- ・ 世界初の「DMV」本格営業運行、デジタル技術を駆使した「スマート農林水産業」、「i-Construction」など、人口減少社会における持続可能な地域づくりの処方箋を提案

（３）リアルとバーチャルの融合で世界に発信

- ・ インターネット上の「バーチャルパビリオン」を活用し、万博開始前から本県の魅力を戦略的に先行発信し、いち早く世界との交流拡大を推進
- ・ ARやVR技術を駆使し、「リアル」と「バーチャル」の両面から、東京オリ・パラのレガシーである本県の豊かな食材や、世界に誇る「あわ文化」を実感できる場を展開

2025年「大阪・関西万博」で創出されたレガシーを、2030年「SDGs達成」に結びつけ、県民のいのち輝く「徳島の未来社会」をデザイン